

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅳ		演習	井上 直樹	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
この講義では、評価実習や臨床実習で必要とされる、①エビデンスに基づいた作業療法介入②対象者の人生を幅広く捉えるために必要な視点や考え方、の2つを習得することを目指す。これら2つの視点が欠けていると、対象者目線での作業療法を提供することはできない。「対象者に寄り添い、その人らしい生活を支えること」とは一体どのようなことなのか、この講義を通して考えを深め、理解してほしい。				
授業の到達目標				
1. 文献を活用する重要性がわかる。 2. 文献の探し方がわかる。 3. 文献の活用方法がわかる。 4. 臨床現場で作業療法学生が陥りやすい思考の偏りについて言語化できる。 5. 自分の考えや知識を他者にわかりやすく伝えることができる。 6. 順序だてた計画を立てることができる。 7. 結果を客観的かつ論理的に分析することができる。 8. 自分の成長を報告することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	文献抄読とエビデンス① （文献を活用する意義・文献の探し方）			
3	文献抄読とエビデンス② （主張を支持する文献を探し、まとめる）			
4	文献抄読とエビデンス③ （主張を支持する文献を探し、まとめる）			
5	ケーススタディ① （架空の対象者情報から考える その1）			
6	評価実習にむけて			
7	ケーススタディ② （架空の対象者情報から考える その2）			
8	ケーススタディ③ （架空の対象者情報から考える その3）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	50%	授業中に提示する課題の提出状況および内容で評価する。		
小テスト				
平常点				
その他	50%	ポートフォリオ面接にて評価する。		
自由記載	再試験は筆記試験を行う。評価方法の割合は、ポートフォリオ面接40%、筆記試験60%である。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				
授業内容や順番は変更する可能性がある。その際は口頭および書面にて通知します。 臨床現場に立つ作業療法学生として、ふさわしい行動や態度で臨んでください。				